

第30回 全国街路事業コンクール応募資料

ふりがな 応募者名		とうきょうと けんせつきょく どうろけんせつぶ 東京都 建設局 道路建設部
街路事業	ふりがな 事業の名称	けいせいでんてつおしあげせんおしあげえきやひろえきかんれんぞくりったいこうさじぎょう 京成電鉄押上線(押上駅～八広駅間)連続立体交差事業
	ふりがな 事業主体	とうきょうと 東京都
	ふりがな 実施都市名	とうきょうと すみだく 東京都 墨田区
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		○事業費: 約335億円 ○事業期間: 平成12年度 ～ 平成28年度
事業の目的		本事業は、京成電鉄押上線の押上駅から八広駅間約1.5kmの区間の高架化により、8箇所の踏切を除却することで、道路ネットワークの形成を促進し、交通渋滞や地域分断を解消するとともに、地域の活性化に資するものである。
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		・踏切待ちによる交通渋滞が解消され、人とモノの流れが安全でスムーズな交通が実現 ・踏切事故がなくなり、道路と鉄道のそれぞれの安全性が向上 ・鉄道により分断されていた街の一体化により、地域の発展に大きく寄与 ・連立事業を契機とし、駅周辺再開発事業や駅前広場整備など、まちづくりが促進 ・新たに生み出された高架下空間に、保育所や児童遊園、飲食・物販店舗を設置し有効利用することで利便性が向上 ・明治通りでは、踏切により最大約380mあった交通渋滞が解消 ・踏切除却により、混雑時における自動車の平均旅行速度が、明治通りにおいて約2倍に向上 ・高架化を契機に市街地再開発が行われ、まちが良くなったと約7割の方が実感 ・京成曳舟駅周辺では、約4.4haに及ぶ再開発事業が進展し、商業床面積が50倍に増加
地元対応等	・地域住民との協働等 ・事業反対等があったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点	・墨田区の地元住民が中心となった立体化促進協議会が、平成6年9月に立体化の促進について、国及び都に署名(署名数8万6千人)を添えて要望した。 ・墨田区が事務局となり「京成押上線連続立体事業協議会」を開催(年度で1回)した。そこに事業者(東京都・京成電鉄)が参加し、地元団体(地元町会・地元商店会等)との意見交流を行い、地元からの要望事項等を取り入れながら事業を進めた。

事業位置図



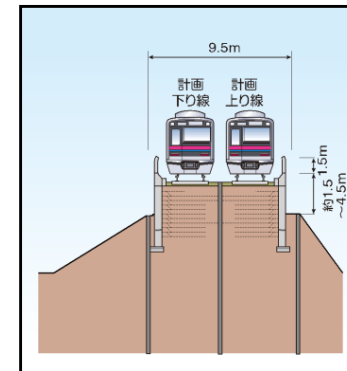
全体図(平面図・横断面図・縦断面図)

平面図

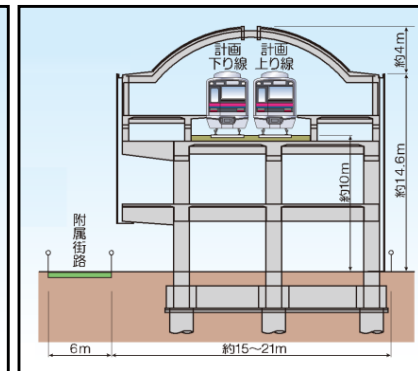


標準横断面図

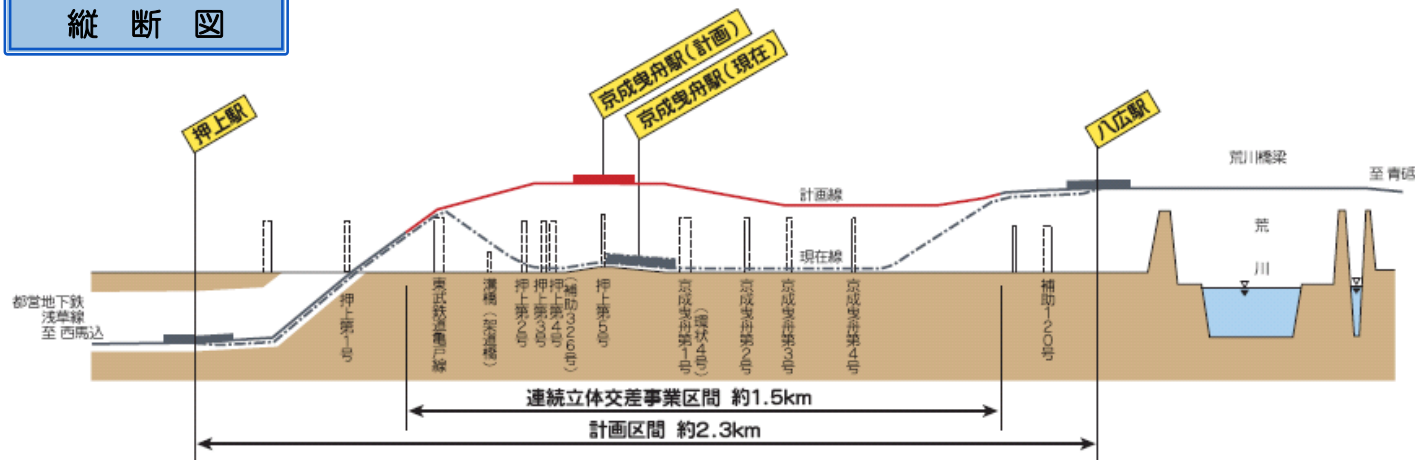
一般部取付区間(押上方)



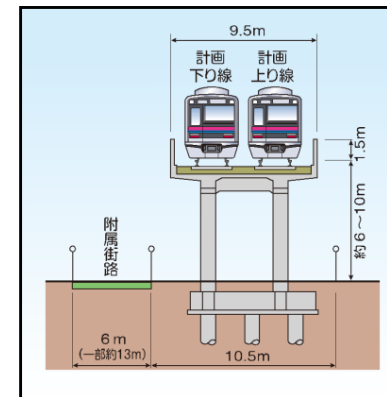
京成曳舟駅部



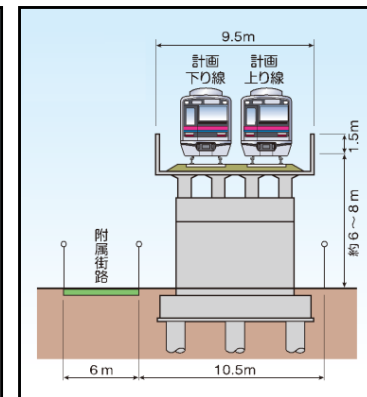
縦断面図



一般部高架区間



一般部取付区間(八広方)



事業前写真



事業後写真



京成押上線(押上駅～八広駅間)連続立体交差事業の整備効果アピール資料

踏切除却により交通が円滑化され、便利になりました！

※高架前はH25.7、
高架後はH28.3の調査結果による

【明治通りの状況】

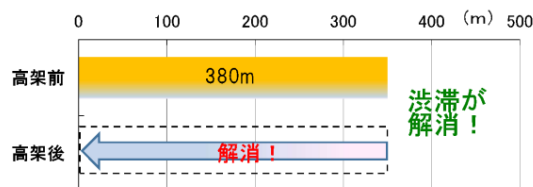
高架前



高架後

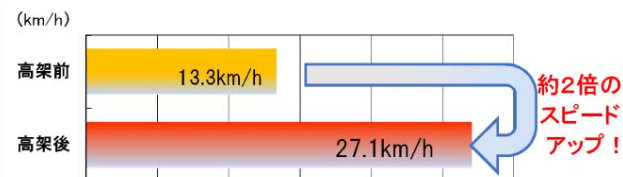


踏切による交通渋滞が解消しました



平均旅行速度が向上しました

明治通り(小村井～白鬚橋東約2.3km)における
朝混雑時(7～9時台)の平均旅行速度の変化



地元の方々の喜びの声

- 踏切待ちのイライラが無くなり、安心感がある。
- スムーズに通行できるので、時間短縮になった。
- 踏切が無くなり、子供の足が挟まれたり、ベビーカーが引っかかったりしなくなった。

高架下空間の有効活用

高架下利用を図ることで地域の利便性、
快適性が向上します。

○利用可能総面積 約9,250㎡
※うち都市側利用面積 約1,390㎡
利用方法
「福祉関連施設(予定)」「自転車駐車場」
「民間商業施設」「公園」等々

民間商業施設



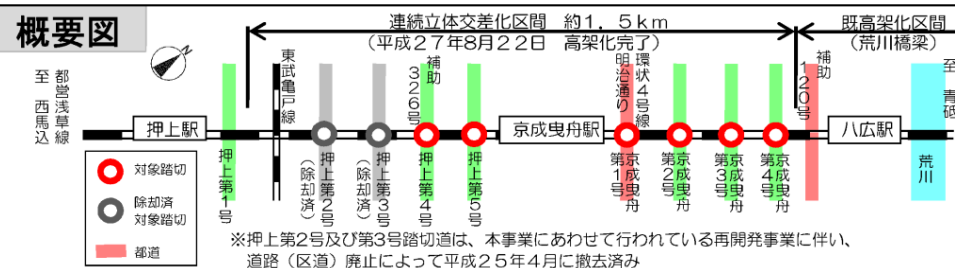
広場(曳舟なごみ公園隣接地)



自転車駐車場



概要図



関連側道の整備

側道の整備により、
●道路ネットワークの形成促進
●円滑な消防・救急活動に寄与
●駅までのアクセス向上
●高架橋による日照対策
といった様々な効果があります。



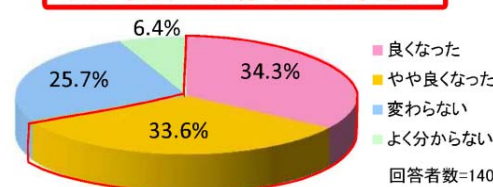
事業を契機としてまちづくりが進展！

京成曳舟駅周辺では約4.4haに及ぶ再開発事業が進展

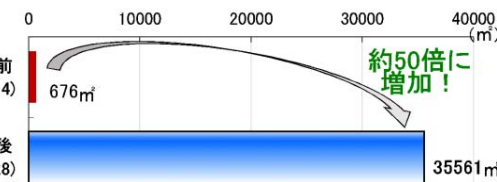
高架化を契機に市街地再開発が行われて、
まちが明るく、便利に

京成曳舟駅周辺の商業床面積が大幅に増加

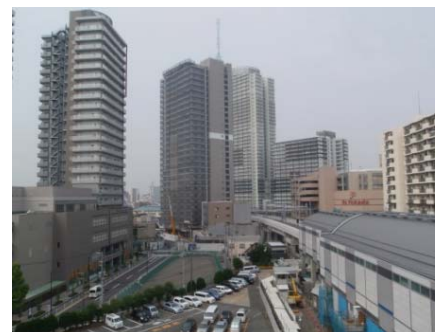
まちが良くなったと約7割の方が実感！



※地元の方々へのアンケート調査結果



※曳舟駅前地区、京成曳舟駅前東第一地区
京成曳舟駅前東第二南地区、京成曳舟駅前東第三地区
の商業床面積の総計



鉄道により分断されていた市街地の一体化、街の魅力向上など地域の発展に寄与している。また、本件事業を契機に、京成曳舟駅周辺で再開発事業による集合住宅や商業施設等の建設がされ、魅力ある複合施設形成が促進されるなど、効果の高い事業である。

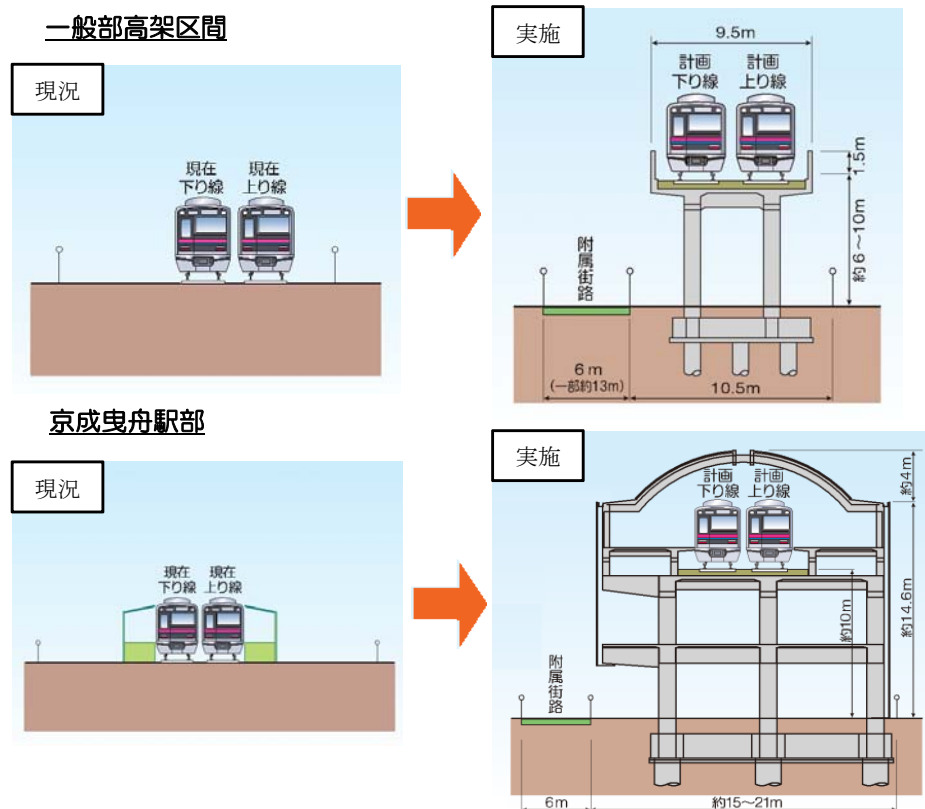
路線全体の進捗状況



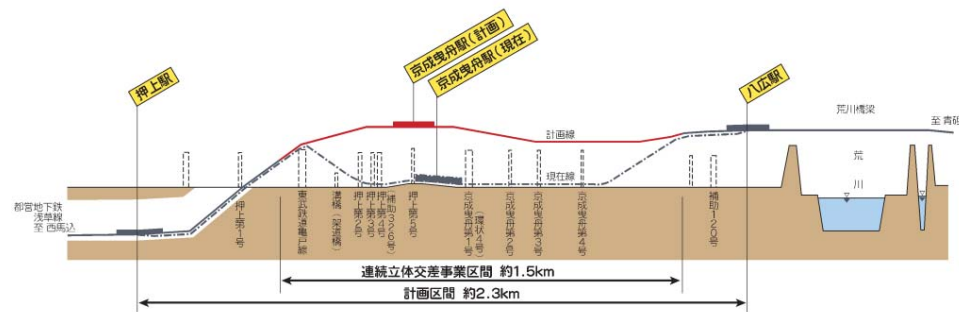
京成押上線（押上駅～八広駅間）事業経緯

平成10年 2月	都市計画決定 京成電鉄押上線：押上駅～八広駅間
平成12年11月	事業認可取得 京成電鉄押上線：押上駅～八広駅間
平成23年 7月	仮線切換完了
平成25年 8月	上り線高架切換完了
平成27年 8月	下り線高架切換完了（6箇所の踏切除却（2箇所は再開発に伴い廃止済））

京成押上線（押上駅～八広駅間）標準横断面図



京成押上線（押上駅～八広駅間）縦断面図



都市計画図

